

平成30年度 明正小学校 自己評価報告書

学校名： 中央区立明正小学校

所在地： 中央区新川2-13-4

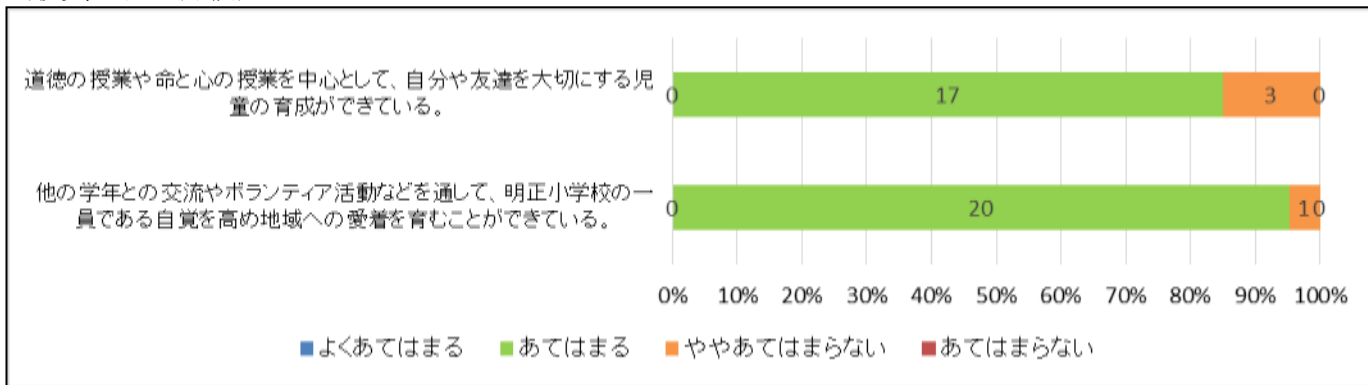
校長名： 平野 雅仁

児童数： 293 学級数：11 通級指導学級：3 教員数：23名 事務主事：1名 用務主事：2名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

(1) 重点目標1 「豊かな心を育む教育活動」

〈教員の自己評価〉

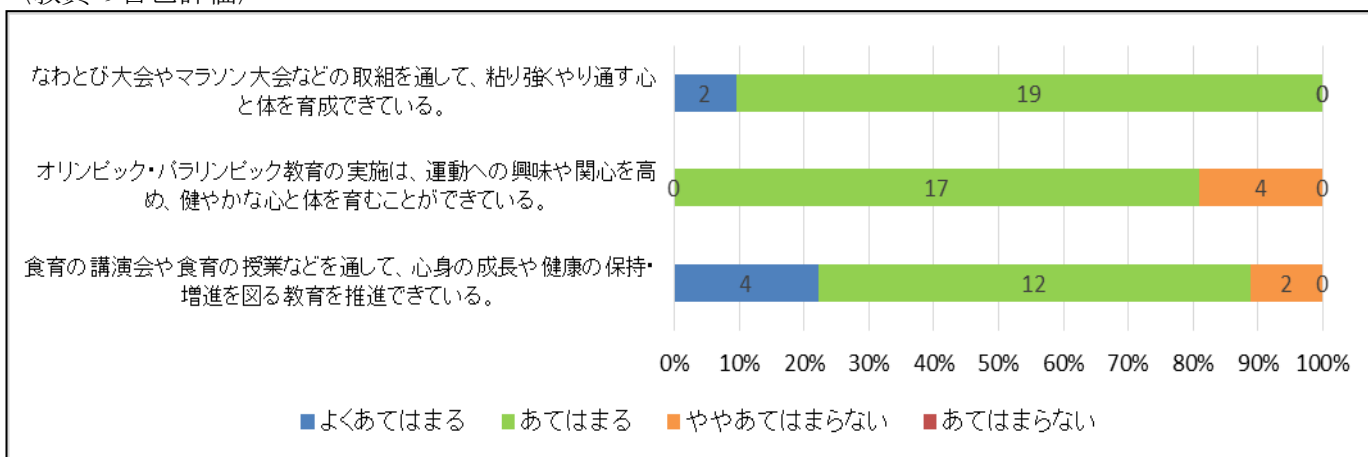


教員の評価では、「あてはまる」との回答が80%以上であり、保護者アンケートにおいても90%以上の肯定的な評価をいただきました。達成状況は概ね良好と言えますが、「ややあてはまらない」との回答もあります。

外部講師を招聘した命と心の授業の実施や、話し合う道徳・議論する道徳の授業改善に取り組み、自他を大切にしようとする児童の育成を図りました。また、とも遊び、地域清掃、集会等の場において異年齢で構成する縦割り班で活動する機会を設け、明正ファミリーの一員としての自覚を高めました。これらの取組を引き続き行い、さらに充実させてまいります。

(2) 重点目標2 「健やかな心と体を育む教育活動」

〈教員の自己評価〉

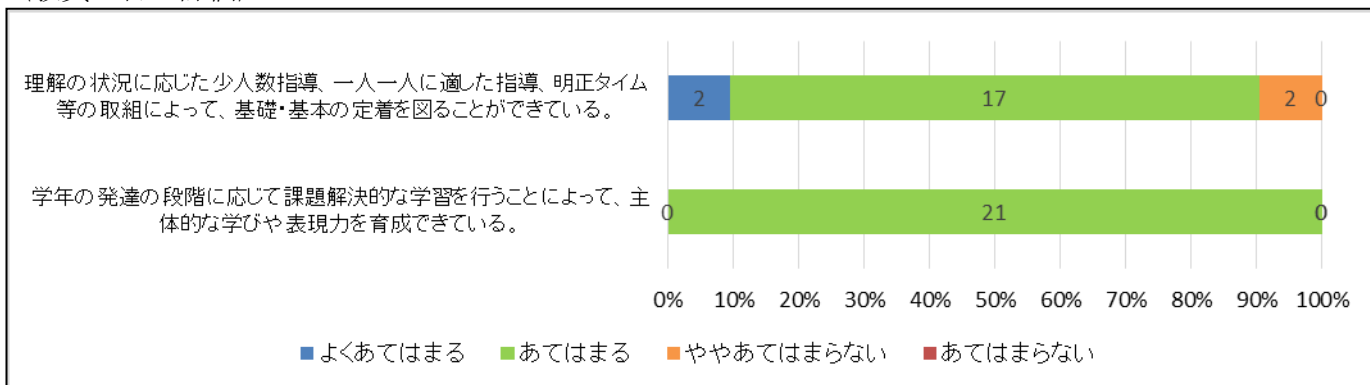


教員の評価では、「体力向上」の取組は高評価でしたが、「オリンピック・パラリンピック教育」、「食育等による健康保持・増進」については、成果が見られないとの評価がありました。保護者アンケートにおいては、概ね良好な評価ですが、「オリンピック・パラリンピック教育」については「分からない」との回答が目立ちました。

なわとび大会やマラソン大会の実施は、児童の運動に対する意欲・関心を高める取組として定着しています。オリンピック・パラリンピック教育では、体験的な実技指導やパラリンピック競技の体験等の実施が児童の興味・関心を高める上で効果的であったと言えます。また、食育講演会や食育授業等の取組により、心身の成長や健康の保持増進の上で、自らを管理していく能力の育成を図ってまいりました。

### (3) 重点目標3「確かな学力を身に付けさせる教育活動」

〈教員の自己評価〉



教員の評価では、「よくあてはまる」「あてはまる」との回答が90%以上であり、達成状況は良好と言えます。また保護者アンケートでも90%以上の肯定的な評価をいただきました。しかしながら「基礎・基本の定着」については一部の教員から「ややあてはまらない」との評価がありました。

習熟度別少人数指導（第3学年以上の算数において実施）、個に応じた指導、明正タイム、夏休み学習教室等により基礎・基本の定着を図ってまいりました。また、習得した基礎・基本を活用して課題解決学習に取り組み、主体的な学びを実現に取り組みました。児童の主体的な学びの基盤となる基礎・基本の力を身に付けさせる取組については、今後も継続的に行ってまいります。

## 2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

重点目標以外については、保護者アンケートにおいて22項目中20項目で85%以上の肯定的な評価をいただき、達成状況は概ね良好と言えます。

肯定的な評価が80%に達しなかった項目の中に「コンピュータや図書室の活用」があり、課題であると捉えています。学校ではICT機器や図書室等の設備・施設の整備を進めるとともに、それらを活用した授業に積極的に取り組んでまいります。

また、「児童の悩み、トラブルなどへの対応」について「ややあてはまらない」「あてはまらない」の回答が11名あったことは課題であると捉えています。児童の問題を見逃さず、全教職員はもとより保護者や地域の方々、関係機関等と連携・協力しながら児童の健全育成に努めてまいります。

## 3 今後の改善方策

### ○豊かな心を育むために

- ・道徳科の授業を要に道徳教育を充実させるとともに、人権教育、国際理解教育等に積極的に取り組み、自他共に大切にする児童を育成する。
- ・縦割り班活動等を通じた異年齢交流や、親子協議会、ふれあい給食等による地域の方々との交流活動を推進することで、明正ファミリーの一員としての自覚を高める。

### ○健やかな心と体を育むために

- ・体育朝会を定期的に行うとともに、マイスクールスポーツである縄跳び、ペースランニング走に意欲・関心をもって取り組み、ねばり強くやり通す心と体を育む。
- ・食育に関する活動を充実させ、自らの健康の保持増進を図っていく児童の育成を図る。

### ○確かな学力を身に付けさせるために

- ・学力調査や授業記録を基に児童の学習状況を的確に把握するとともに、習熟度別少人数指導等を通じた個に応じたきめ細かい指導を実施し、基礎・基本の定着を図る。
- ・児童が主体的に課題に取り組み、対話、発表、議論等を行うことでより深い学びにつながるような授業改善を行う。

### ○家庭・地域との連携を密にするために

- ・地域の教育力を積極的に活用し、児童にとって地域のよさを実感できる教育活動を推進する。
- ・学校公開、ホームページ、学校便り等を活用し、積極的に情報発信をしていく。